

地域の方々の健康増進に協力・・・地元のみなさんとともに

歳
時
記
1

山田啓二 京都府知事
「新春セミナー ～知つとこ研修会～」にて
千春会ハイパーサーミア クリニック 近藤 元治 院長が講演
平成22年1月22日
長岡京市立中央公民館 市民ホール

第一部「知っておきたい自分の健康」というテーマで当法人の近藤元治院長が講演。豊富な臨床経験から、自分で守る健康について、ガン告知、子どものエイズ教育、ハイパーサーミア（温熱療法）についてなど…。パワーポイントを使用しての症例説明では「ほー」と感嘆の声も。盛りだくさんの講演内容でしたが、誰にでもわかるようにと、ユーモアを交えて楽しく話をされ、大きな笑いが何度も会場に溢れました。



続く第二部では、山田啓二京都府知事が「知っておきたい京都府政」をテーマに話をされました。府民が府民のために地域の問題点を提起し、動いたことで改善に結びついた事例や、これからの京都府の高齢者問題についてなど、近藤先生の講演内容も織り交ぜて、府政について楽しくわかりやすく話をされました。



講演中の山田啓二 京都府知事

近藤院長の講演終了後には「もっと聞きたかった」「わかりやすく、おもしろかった」「あんな先生に脈を取ってもらいたい」など多くの方々から声があり、講演は好評でした。また、講演中の近藤元治 院長ガン治療の一つである「ハイパーサーミア（温熱療法）」を地元の皆さんにもお伝えできた、良い機会にもなりました。山田知事からも「ハイパーサーミアについて聞かせてほしい」とのことで、別室で当法人理事長が説明。知事は、質問をされたり、興味深そうにうなずいておられました。



講演中の近藤元治 院長



山田啓二 京都府知事(左)に説明中の菊地理事長(右)

歳
時
記
2

医療・介護・福祉の連携推進シンポジウム

清水ケアマネージャー熱く語る
(千春会介護支援事業所 開田)

2月13日
バンビオ1番館2階



介護保険事業に関わる関係者が「連携」をキーワードに交流と相互理解を図り、今後のより良い方向性を考える機会となる事を目的にしたシンポジウムが開催されました。当法人の居宅介護支援事業所 開田 清水恵美子ケアマネージャーがシンポジストとして発表。「ケアマネジメントにおける連携について」をテーマに話をしました。



編集後記

表紙写真。桜の花揺れる「おとぎの国」のような建物は、千春会の関連法人が運営する「特別養護老人ホーム わらく」（平成17年、中和東小学校跡地に開設）。小学校の名残を残す敷地には「報徳の父・二宮尊徳像」が置かれ、かつての校庭には満開の桜と紅白の梅。そして山の斜面には「茶源郷」と称賛される茶畑が広がります。（「和東の茶畑」は、京都府景観資産登録の第一号）。思い出深い小学校の跡地で、心豊かな老後を過ごしていただけるよう、町の方々に愛される施設を目指す「わらく」。

今年度、開設の千春会「介護老人保健施設 春風」もその名の如く、やわらかな春の風に包まれ、皆様が心癒される施設である事を願いつつ……。ゆったりとした時間が流れる「のどかな里の春」満喫です。（弘）

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります（インフォームドコンセント）。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります（セカンドオピニオン）。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千 春 会 病 院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615

2010年3月号 Vol. 17 （2010年3月1日発行）

せんしゅん



ISO9001：2000認証取得
日本医療機能評価（Ver.5）認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



満開の桜に包まれる
「特別養護老人ホーム わらく（社会福祉法人 和楽会：千春会関連法人）」（京都府和束町）

理 念（3つの使命）

- 1 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
- 2 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
- 3 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

医療法人社団 千春会

新しい春を迎える 千春会病院



千春会病院 院長
藤原 仁史

千春会病院では、今年度も法人理念の下、「医療と介護」の連携と充実を目指してまいりました。

法人としての千春会は、大きく「千春会病院」と「介護部」の2部門に分けられ、後者には通所系介護事業所(デイケア、デイサービス)、ショートステイ、居宅介護支援事業所、訪問介護センター等の11の事業所を揃えています。これらが複合的に活動することによって、法人理念に基づく「良質な医療・看護・介護の提供」を行っております。

法人理念の実現のため、かねてから掲げる「かかりつけ病院」としての機能を、今年度もさらに充実させてきました。

疾病予防の観点から、特定健診をはじめとして各種検診業務を実施し、ワクチン接種なども広く受け入れてまいりました。

さらに、乙訓地域に数少ない透析施設として、血液透析と腹膜透析を実施し、内視鏡専門医をそろえて、近隣からの緊急検査の依頼にも対応いたしました。

終末期の悪性腫瘍の患者様も可能な限り診療させていただき、緩和治療の一端を担わせていただきました。

また、看護配置基準7対1の維持や平均在院日数の短縮化(平均17.1日)を行いつつ、地域の医療機関、介護関連事業所、保健所等の公的機関との連携を密にとって、近隣地域に貢献できるよう努力を重ねております。

昨年春頃から日本中に猛威を振るった「新型インフルエンザ」対策では、6月より乙訓地域の病院が集まり、月に1度の6病院懇談会を開くなど、情報交換と病連携の確認をして参りました。

秋以降は、重症のインフルエンザ患者数が増加することを想定し、済生会京都府病院も含めての乙訓7病院により、インフルエンザ入院患者受け入れ可能状況の情報を毎日相互に連絡し合い、乙訓医師会や保健所ともその情報を共有して対応してきました。

この懇談会を通して、インフルエンザ対策にとどまらず、まさに「顔の見える連携」の基盤形成がなされ、千春会病院も大変有意義な関係を構築させていただき、心より感謝申し上げます。

さて、本年1月には「千春会ハイパーサーミアクリニック(近藤元治院長)」がJR長岡京駅前、バンビオ内にオープン致しました。

このクリニックを設立したことには2つの意義があります。

まず、第1には『ハイパーサーミア(ガンの温熱療法)』です。「ガン」は国民の3人に1人が罹患するとも言われている中、ガン治療の1つの選択肢である「ハイパーサーミア(ガンの温熱療法)」による治療をこのクリニックで開始いたしました。全国的にも著名な近藤先生の下でスタートした『ハイパーサーミア』については、千春会病院としてもその診療・治療を全面的にバックアップし、協力体制で臨んでいます。

第2には、これまで当院が行ってきた訪問診療の機能を、この新しい「千春会ハイパーサーミアクリニック」へと移管させ、『在宅支援診療所』としてスタートさせたことです。ここでは、従来行ってきた「訪問看護」「訪問介護」とともに、地域のこれからの在宅医療を支えるべく訪問診療専門の医師による「訪問診療」を充実させていきます。

また、計画進行中の『介護老人保健施設^{はるかぜ}春風』についても、その事業計画が概ねかたまり、2010年度の冬の事業開始に向けて準備が進行しており、今後ますます「医療と介護の連携」が強化されていきます。

新年度4月を目前にした今、空を飛ぶナショナルフラッグの会社の破綻、信頼度ナンバーワンの自動車会社の不具合問題に端を発する世界中からのパッシングなど、一昔前には想像すらできなかった変化が世の中では起こっています。政権交代から半年、医療界を取り巻く環境も更に変化があるものと考えられます。

様々な時流の変化に対応しつつも「法人理念」に基づく揺らぎのない千春会病院は、これからも地域に貢献できるよう、2010年度もさらなる努力を重ねて参ります。

副作用がなく苦痛を伴わない治療法 患者さんの身体に優しい治療法

ハイパーサーミア(ガンの温熱療法)を ご存じでしょうか？

1月12日より、 ハイパーサーミアクリニックが開院いたしました。

1月から「ハイパーサーミア(ガンの温熱療法)」による治療がはじまりました。多くの方々が受診され、治療を受けておられます。受けられた方の感想は「痛みもなく、ゆったり過ごせました。」とのことでした。健康保険も適用できますので、一連の治療(およそ2ヶ月間)で約27,000円(3割負担の場合)となり、費用的にも負担は軽くなっております。(詳細について…ハイパーサーミアクリニック TEL(075)958-6310)



治療にあたる近藤元治院長(京都府立医科大学名誉教授)
電磁波加温装置「サーモトロン」使用

<治療ご希望の方>

はじめての方はまず、千春会病院にて温熱外来を受診していただきます。患者さん自身のご来院が困難な場合は、ご家族の面談をさせていただきます。セカンドオピニオンのご相談もお受けしています。

千春会病院 温熱外来 診療時間

毎週 火曜日 午前9時から
(受付時間:8時~12時15分)

<ハイパーサーミアについて知りたい方へ>

●「ハイパーサーミアって何?」という疑問にお応えする本

『新・第4の対ガン戦略 ハイパーサーミア(ガンの温熱療法)』 (近藤 元治 院長 著)

千春会で1,000円(税込)で販売しています。(書店価格 1,650円 税込)

内容:医科大学4回生のQ子さんが、A夫ドクターにいろいろ質問を投げかけていくことで、皆さんが知りたいハイパーサーミア(温熱療法)についての理解を深めていく物語風の本です。医学書にありがちな難解さがなく、楽しく読め、わかりやすい本になっています。

●「ハイパーサーミア Q&A」(リーフレット)

※ いずれもクリニック及び病院受付にあります。ご希望の方は、お気軽にお申し出ください。(郵送可)

千春会 ハイパーサーミア クリニック TEL(075)958-6310

長岡京市神足2丁目3番1号 バンビオ1番館 7階(JR長岡京駅西口 長岡京市生涯学習センター バンビオ1番館)

介護部紹介

家族のような愛情で…

「良質な介護の提供」をめざす介護部の日々の「地道な取り組み」をご紹介します。

介護部には、デイサービス、訪問介護センター、居宅介護支援事業所など11ヶ所の事業所があります。いずれも法人理念に則って方向性を一つに運営しており、責任者やスタッフの熱い想いや考え方を反映することで、それぞれの事業所らしいサービス提供をしています。

「その方」に関わる全ての部門、全ての事業所が連携を図り、「その方」らしい生活を送って頂けるよう、スタッフ全員が「自分の家族を任せたいと思う施設・事業所」を目指して努力しています。

5か所(デイサービス・ショートステイ含)の施設運営は？

「全員」が「いつも」「どんなときも」「真剣に」、利用者さんを一番に考えて行動しています。自分の家族を思うように、深い愛情を持って接している姿は本当に印象的です。どの事業所も組織としての統一性を持ちながら、お一人お一人の利用者さんを尊重していくことに精一杯努力をしています。人間関係も良く、他法人の事業所で継続しなかったスタッフが活き活き働いている事が多いのが特徴です。事業所ごとのチームワークも抜群で、それぞれの良さが発揮されています。

通所系統括責任者 入谷 卓也

どんな介護スタッフですか？

本当にやさしい気持ちを持つスタッフばかりです。「もっと、こうして差しあげたい。」という気持ちが強く、「良かれ」と思う事は自分の仕事がどんなにしんどくならうとも、「何とかできないものか」と提案があります。

「自分の家族だったら」「自分の家族が預けられる施設にしたい」そんな想いがあふれています。15人のスタッフが利用者さんに15回「おはよう」の声かけをするものですから、利用者さんも「私がちょっと元気なだけで15人が「大丈夫ですか？」と心配してくれるんですよ。何回、大丈夫って答えたことが…(笑)。」と笑っておられました。

デイサービスセンター滝ノ町 責任者 瀧本 稚子

支援に対する熱い想いを ケアマネージャーに語ってもらいました

ご本人やご家族を取り巻く、様々な背景を多角的に考えることで、その方やご家族の想いをケアプランに、より反映させたいと考えています。「心情」の部分でのご相談やお話を聞かせていただき、少しでも前向きな毎日を過ごしていただけるよう、寄り添った関わりが持てるように、お手伝いしたいと願っています。ケアマネージャーとしての制度上の業務だけではなく、「地域の介護相談の場」としても地域の皆さんが気軽に相談に来ていただけるように努めています。

居宅介護支援事業所 開田・上植野

ご自宅に伺って生活支援をする 「千春会のヘルパーさん」について

訪問介護センターでは、介護度の重い方の受け入れや時間の要望にも積極的に応じています。千春会の訪問介護を長年ご利用されている方が多いので、その方の生活状況に変化があっても、臨機応変にご希望に添えるような対応を心がけています。ヘルパーさんの年齢層は30代～40代の方が多く、真面目な方、気持ちのやさしい方ばかりです。

「何とか利用者さんのご希望にお応えしたい」という思いのヘルパーさんが千春会のヘルパーさんです。

訪問介護センター（開田・みなせ・上植野） 統括室長 田井 堅次

インタビュー



研修による日々の努力

デイサービス・ショートステイの施設では、新入職研修はじめ、外部講師による研修や各施設単位での研修など、年間を通じて「質の向上」のためのカリキュラムが組まれ、どの施設、どの事業所においても「良質な介護の提供」がなされるよう、職員のスキルアップに励んでいます。

手厚いバックアップ体制

❖新入職者研修（2週間）

初めて介護職に関わるスタッフでも、安全に、戸惑うことなく職務につけるよう、基礎的な知識と体験を繰り返し研修します。ベテランスタッフから介護について学んでいきます。

❖職員研修（年間スケジュール）

年間12回、全施設（5か所）の職員が参加する大人数の研修です。どの施設でも「良質な介護」が提供できるよう、職員全体のレベルの向上を図ります。



❖各事業所職員研修（年間スケジュール）

それぞれの事業所が、スタッフの要望なども取り入れた独自のカリキュラムで1年間の研修プログラムを作成します。外部講師なども活用し、内部研修を充実させていきます。

会議による連携と情報の共有

会議や委員会を持つことで、法人としての方向性や、医療と介護の連携、各事業所間の連携や情報の共有を図り、より「良質な介護の提供」を法人全体で目指していきます。



医師・看護師交えての介護責任者会議

- 介護責任者会議
- 各事業所責任者連絡会
- 部門（居宅・訪問・通所）ミーティング
- 訪問介護サービス連絡会
- 利用者カンファレンス
- 居宅・在宅医療委員会
- 居宅ケアプラン検討会
- 利用者満足検討会
- 職員向上検討会
- ヒヤリハット検討会
- 運転手リーダー会議



ごあいさつ

千春会が介護事業に携わったのは、平成11年デイケアセンターの立ち上げが最初でした。その後、毎年1事業所ずつ開設し、現在11ヶ所の事業所が、法人理念に則った「良質な介護の提供」を基本とし、お一人お一人に合わせた「より良いサービス、より満足していただけるサービスの提供」を目指し、たゆまぬ努力をしています。

施設では、介護スタッフに加え、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士までもが関わり、医療との連携を密にした法令規定以上の手厚い人員による「良質な介護の提供」にも取り組んでいます。また、外出行事やイベントで利用者さん楽しんでいただくだけでなく、「家族会」やスタッフによる「家庭訪問」などを通じて、ご家族の相談や悩みにお答えするなど、常に安心して施設をご利用いただけるように、誇りを持って職務に励んでいます。

これからも、地域に暮らす皆さまの在宅生活を支え、貢献できるように各事業所との連携を強め、法人一丸となって、理念である「良質な介護の提供」を目指して日々努力してまいります。

介護部 部長 寺山 紀子



居宅介護支援事業所 開田

訪問介護センター開田

訪問介護センターみなせ

デイサービスセンター友岡

デイサービスセンター上植野

居宅介護支援事業所上植野

訪問介護センター上植野

デイケアセンター

デイサービスセンター滝ノ町

デイサービスセンター風車

ショートステイ上植野